

令和7年度もりおか女性センター主催事業
【フェスティバル2025 映画「黒川の女たち」上映会】参加者の声

※参加者記入のまま

・つらい歴史を語り伝える人がいる。しっかりそれを受けとめて、次世代へ伝え続けて平和を作る!!

・辛い体験を世の中に公表できたこと、ハルエさん達が秘めていた重荷をおろしてきたことが救いでした。他の被害女性達も少しでも心の開放につながりますことを祈ります。団長息子のご夫婦の働きに感謝です。

・映画の中で「恥」とか「汚い」とかと言う言葉が何度か出てきたのが気になった。今こうして生きていられるのもこの性暴力で犠牲になった人が居たからなのだから。もっと沢山の方にこの映画を観て欲しい。

・戦後80年、勇気を持って発言なされた彼女たちの勇気に感動しました。映画の中の彼女たちのことばは今こそ声を大にして引きつなぎたい。戦争は絶対にだめ!!

・「常々と話して後世に残していく必要がある」と勇気を持って告白した女性たちの思いに涙が出ました。

・歴史の闇の中にうもれていた地獄の悲しみ、苦しみその経験していた女たちの（あったことをなかったことにはできない）という信念と覚悟をもって声をあげつづけた女性たち、それをこうしていねいに現実に関わり伝えてくださったことに深い感動と感謝をささげます。

・戦争のない世界が来ることを切に願います。

・戦後80年にこの映画が見られた事、80年この思いを心に持って皆さんに伝えられた思いを大切に生きていきたい。

・歴史を開くことは未来を照らす灯ですね。

・戦争には、加害と被害の両面がありますが、日本では被害の報道はよく語られています、加害の報道はあまりないと思います。「接待」の事実を勇気をもって語ってくださった女性に頭が下がります。岩手町.K.H

・つなぎ伝えることの大切さ、あらためて胸に秘めた。戦争と性暴力は岩手にもあった。伝え続けたい。

・「黒川は日本社会の縮図」という言葉が重く感じました。女性たちの被害だけでなく、そこからの長い人生に向き合った、素晴らしい映画です。

・“知る”ことの大切さを改めて感じました。そして、いまこそさらに知らなければ!!この映画に出会った責任もヒシと感じています。M.M

- ・女性は今も声を上げ続けていると思う。泉さん、宏之さん、高野さん、孫たち、素晴らしい、ありがとう、と思った。私もがんばる。
- ・「性暴力は被害者の恥ではない、加害者の罪である。」心に残った上野さんの言葉です。
- ・“黒川の女たち”を鑑賞して初めてこのようなことがあったと知りました。まだまだ知らないことがこれから知ることができるといいなと思いました。
- ・なかったことにできない悲惨な事実、多くの方と映画で共有できました。我々に託されたこと、戦争のない平和な日常。
- ・この映画を観た者としての“責任”を感じています。周りの人に伝えていきたいです。
- ・平和を守り続けるために勇気をもつ。声をかけ合う。
- ・女が心、体に受けたトラウマ的な事は、何年経っても忘れる事ができません。私も少しばかりの経験にいまだにフラッシュバックして涙が出ます。70代
- ・戦争という極限状態の中で引き起こされた悲しい出来事。この背景には日本とソ連の国の在り方が大きく関わっていると思った。日々の暮らしの中にある差別に敏感でなくてはならないと思った。
- ・戦争は絶対ダメ！歴史の真実は消せない。戦争の不条理をしっかりと伝え、行動していかなければ。
- ・人の尊厳を破損する戦争そのものに反対の声をあげつづけよう
- ・戦時性暴力について今一度考えてみる時が来たように思う。まだまだ“なかったこと”にされてきた声はあるはずだ。満州から日本に戻ったその港で麻酔もなく墮胎させられた女性たち、GHQに差し出された女性たち、終戦時の沖縄で米兵から被害にあった女性たち、「従軍慰安婦」とされた女性たち、その中には日本人もいたはず。
- ・日常的に「勇気」という言葉を耳にしますが、彼女たちにとっては何十年もかけた一生の思いを重ねた「勇気」の一言だったのですね。
- ・「知ること」と「伝えること」は、男性だから、女性だから、大人だから、子どもだから、そんなの関係ない。すべての人が生きている限り、し続けていくことなのだと思う。
- ・弱い立場の人達の歴史を知ることは難しいですが、発信してくれる人たちが多く出てくれることを期待します。それを私たちはしっかりと受け止めて伝えていきたいです。
- ・戦争のむごさと勇気を持つことの大切さ、全政治家に見てもらいたい。
- ・私はルミエール上映の時、気にしながらも見逃し残念に思っていました。今回この場で感動し素晴らしい。実在を知り感謝です。ありがとうございます。我が娘にも見せたかったです。

・辛くて厳しい戦争と性暴力の事実を知り、二度と繰り返さないために自分が何をできるのか、これからの世代は何をすべきか、考えて、行動していきたいと思います。

・私たちは繋がっているのだということを感じさせていただきました。知るためにここに来て本当によかった。

・身内にいたので満州について関心がありました。映画館での上映は迷っている中に終了して残念に思っていました。機会を設けて頂き有難う。

・知らなければならないこと、歴史に残さなければならないこと、その責任、この女性たちの悲しみと苦しみと勇気と強さに報いたいと思いました。

・戦争は一般市民を巻き込む。とくに子供、女性の犠牲の上に成り立っている。ウクライナ戦争、イスラエルとガナ、早期に中止してほしい。

・話をしてくれて映画にしてくれて、本当にありがとうございますという気持ちです。最後のみなさんのハレバレとした表情や高校の授業の様子が入っているのがとても良かったです。希望のある終わり方で良かったです。

・ご本人の言葉で聞けて良かったです。言葉と映像を残して頂きありがとうございます。私自身は戦争を経験していませんが、お話を聞いて自分の今の環境に置き換え想像しました。言葉にできない程苦しく悲しい気持ちになりました。二度と誰もがこのような悲しい気持ちにならないように私自身も伝えていきたいと思いました。

・尊いいのちを心をその大切さを勇気をもって伝えてくださったことに感謝です。ありがとうございました。

・平和と向き合うこと。

・戦争の悲劇が再びありませんように!!告白してくださったハルエさん達の勇気に感謝です。

・ありがとうございました。

・戦争がなければ…。戦争は何ひとつ良いことはないです。

・この映画で戦争はやってはいけないとより強く感じた。

・知ってもらって同じ思いをしない世の中に!!語る事の大切さを感じました。

・本日、知り得た「私の責任」って何なのか、よく考えたい。そして何か行動できるようになりたい。H.I

・途中から声をあげて逃げ出したくなりました。彼女らに謝罪するのは誰だったのでしょうか。日本国は戦争の責任者は彼女たちに謝罪すべきです。

・息子娘世代には出来なかったことが孫世代になって出来るようになった。上野先生はこのメッセージに私は希望を見出す思いでした。ありがとうございました。

・生まれてこのかた、この映画が伝える事実を知らなかったことを重く受け止めました。

・初めて黒川のことを新聞で知った時、ショックだった。でもハルエさん、菊美さん、藤井会長など多くの方々の強い意志がこのような映画、碑など形となって本当に良かったと思います。世界各地で争いが絶えない今、戦争は二度としてはならない、改めて誓いたいと思います。

・昔あったことを封印してはいけなかったと感じました。声を上げることは大事です。すべての暴力（戦争も）がこの世からなくなりますように!!

・このような希望を持つことが出来る映画だとは思いませんでした。大変良い映画でした。

・戦争は絶対反対！日本は憲法9条を守って戦争に頼らない国の先頭にたてるようになってほしい!!歴史を改ざんするな!!!

・勇気をもって話をしていただいた事に深く感謝します。伝えていきます。

・世界中が平和でありますように。

・戦争、知られてないことが知れて良かったです。

・国のために犠牲になったのに帰国後の誹謗中傷の方が地獄だったなんて怒りで震えました。一方でお身内に告白した際の特にお孫さんの「尊敬する」という愛あることば…。人間の二面性にも深く考えさせられました。上野さんに言われた「責任」をどう果たそうか考え続けます。

・「新しい戦前」と言われる今。歴史修正主義の主張を政治家をはじめ様々な場で目にするようになり余計に今日のようなドキュメンタリーの必要性を感じました。

・被害と加害、この加害のことはあまり知られていない、これは今の政治でもいえることだがあったことを無かったことには絶対にしないということを自分にも言い聞かせたい。

・一般の人は誰も戦争なんて望んでいないと思います。ただ、愛する家族や友人と平和に生きていきたいだけ。戦争したい人って誰なんですか？平和な世界で生きていきたいです。

・聞いたもの、見たものの責任もある…もっともと思い至りました。安江さんの息子さんの言葉は一つ一つ重くよく伝わりました。頑張れ、孫、ひ孫

・強き女性「黒川の女たち」

・戦争は事実を事実として伝えず、都合の悪いことは隠す、この事実に向き合った黒川の

女性たちは素晴らしいし、伝えていかなければいけないことだと思いました。戦争は加害者でもあり被害者にもなる両面を持っている。決して戦争はしてはならないと思いました。

・戦争には加害者、被害者の二面性があることがこのドキュメンタリーを通して痛感しました。被害を受けた佐藤ハルエさんが話したラストのことば「話したことを公開しない」このことを私たちは次の世代に伝える責任はある。

・恥ずかしいとは男性の恥ではないかと思います。玲子さんの言葉は私もいつも思っている事を言っていました。こどもと女性が犠牲になります。世界中そうです。だから選挙は大事だと思います。事実はやはり心を動かしますね。それには勇気でしょうか。

・戦争は決してしてはいけない。

・戦争は絶対止めればなりません。

・黒川の女性たちの生きざまを形にされたこと、私たちに知らしめてくれた事に感謝します。私たちもあなた方のあとについていけるように…

・大変な内容の映画でした。作られた方々、登場された方々に敬意を表したい。次の世代に伝えなくてはならないと強く感じました。

・ただ、驚きの一言！今まで他人事のようにしか思っていなかった、いろいろなことが…

・国家、軍隊、開拓団、更に現地の満州に元からいた人たち、いろいろな人たち、組織の関係について考えさせられた。また、開拓団内部の判断、集団自決を避けるために未婚の女性を差し出すという判断はどうだったのか？中で男の人たちの判断はどうだったかという趣旨の話が印象に残った。

・都合の悪いことをなかったことにして生きていること…そのことによって都合の悪いことは繰り返されるのだと思いました。お話をされた皆さんの勇気を私が持てるかと考えると自信がありません。でも心の背中を押してもらえました。

・何年経っても『戦争反対』戦争につながる動きも反対。戦争は最大の人権侵害です。

・凄まじい様子を思い浮かべてとても辛いです。本土に帰郷しもっと早く話すべき事も差別と偏見の日々又病の途中で亡くなられた方達の壮絶な生きざまだったろうと思う時、脳がかきむしられるようです。時が過ぎ、今はお孫さん世代になっておばあちゃんが生きて帰ってきたから今の自分たちがあるというとても温かい言葉でした。上野千鶴子さんの言葉が優しかったです。

・戦争と差別がない世界に

・ロシア軍への接待があったこともなかったことにしてはダメだ。満州であったことを総括してこなかった。今もあの戦争の総括をしていないことが大問題である。それはこれからの日本の在り方にも大きな影響を与えることになると思う。

・自ら語った女性たちの言葉と目にもものすごい力を感じました。「日本は戦争の総括をしていない」(宏之さん)の言葉もそのとおり！

・女性の声を大きな問題として張り上げました。

・男の欲が世界を不幸にしている男女平等こそ幸せな世界への道

・戦争はこわいと思いました。

・国策としての満蒙開拓団なのに何の謝罪も保障もないことに怒りを覚えます。最後のたづさん、玲子さん、ハルエさんの笑顔に救われます。一方。日本軍の性暴力の被害にあわれた従軍慰安婦の人たちは心が休まる時があったのでしょうか…気になります。

・記録に残してくださってありがとうございます。私にも長春市で引き継いだ話があり、その話を伝えていきたいと考えております。こういう時代だからこそしっかり史実を伝えていきたい。

・国策と軍の罪に犠牲を強い

・素晴らしい映画をありがとうございました。

・戦争はやってはいけない。ハルエさんたちは強いなと思いました。

・史実を正しく知って忘れず伝えていかななくてはと思います。

・映画「黒川の女たち」の放映は自分に勇気をくれました。戦争のない社会にしていけます。

・ありがとうございます。とても感慨深かったです。

・企画が素晴らしい。年齢を重ねてもはっきり覚えている程、悲しみ、苦しみ、感動しました。戦争の事、話せない事も分かりました。

・女は物です。今も現実です。

・戦争はどれだけの「あった事」を「なかった事」にしてきたのでしょうか。明らかにして下さった皆に仲間に感謝します。

・満州での加害と被害がきちんと伝わってくる、筋建てでした。何も知らなかった満州での“日本”のこと 80 年も時間を要した“乙女たち”の犠牲を恥とか汚れから勇気や誇りとして描いていただきありがとうございました。

・伝え続けます。

・真実が孫、ひ孫世代に伝えられていること人間のすばらしさを感じました。勇気を出して声をあげてくださった黒川の乙女たちに感謝です。

・戦争反対！社会が受け止めてくれるまで勇気を持って事実を話してくださりありがとうございました。

・国連、日本国憲法戦争の拒否権の樹立を願う。誰一人とも性暴力、赤紙、参戦の拒否権を。

・「黒川の女たち」上映ありがとうございます。どんなにつらく悲しかったことでしょうか。なかったことにはしたくないと、活動をつづけたみなさんに心から敬意を表します。さきの戦争の総括をしていないのではないかとの言葉、重いです。次の世代に命のバトンを繋いでいくためにも平和への一歩を踏み出していきたいものです。

・二度目の鑑賞でした。上映後の監督と上野さんのビデオメッセージも良かった。伝えたいと思います。また観たいですね。

・つらいことを話してくれたこと大切に思い、伝えます。

・また知らないことを教えてください。映画の中でのタテの説明文が見つらなかったです。

・私も性被害者

・知らなかった。戦争はだめ！

・戦争は絶対にしてはいけない！戦後 80 年、日本政府はあの戦争がなぜ起こされたのか、誰の責任だったのか少しも反省していない。だから軍事費を増強し続けている。二度と過ちを進めさせてはいけない。「黒川の女たち」はそれを訴えている。

・戦争は男性が起こす。女性はその戦争の中から後世に遺る教訓を引き出し広めてゆく

・戦争とは大変悲惨なんだと、つくづく見て思いました。若い女性たちが犠牲になり、本当にかわいそうな思いをしたと思った。広く世界で戦争をやっていますが、こんなことがあるでしょう。ソ連（ロシア）は人間の常識とはずれていると思います。

・国策と軍の罪に犠牲を強いた歴史に性接待を受ける側、加害した側として自らに問い、向き合わねばならない責任がある。打ち明けた女性たち、謝罪した会長の勇気を自分が持たなければと思った。自分の「なかったことにしてはいけない」ことを忘れてはいけないと思った。